

環境学習（案）について

1. 宇部市の環境学習について

(1) 平成30年度実施した環境学習

①ごみ収集に関する学習（パッカー車実物見学&環境業務員による解説）

- ・ごみを収集しているパッカー車の実物の見学や実際に自分たちが出しているごみを収集する作業員の話聞くことで、ごみについて身近に感じてもらえる。

②ごみ分別に関する学習（ごみ分別（9種分別）体験ゲーム）

- ・体育館等を使用し、様々なごみを分別するゲームを実施。
体を動かし、ゲーム感覚で行えるため子どもたちも退屈せず学ぶことができる。

③段ボールコンポスト体験学習（生ごみ処理容器による生ごみ堆肥化体験）

- ・段ボールコンポストの開始時と堆肥完成時の2回学習を行っているが、堆肥化を成功させるためには学習時だけでなく学習後の取組みが重要となる。そこで、子どもたちのやる気を維持するために、段ボールコンポストの観察記録の作成や、生ごみの混ぜ方に点数を付け通信簿を作成するなど、子どものやる気を維持できるよう工夫している。
- ・また、できた堆肥を利用して育てた花を両親へプレゼントする取組みも行っている。

(2) 対象（平成30年度）

市内小学校及び保育園

(3) 周知方法について

- ・平成29年度までは、4月中旬頃に市職員が各小学校の4年担任の先生を訪問し授業内容等を説明していた。
- ・平成30年度は、同時期に学習内容をまとめた文書を送付し、随時学校から実施申込書を提出してもらう方法へ変更したところ申込み件数は前年度より減少している。

2. 田川市で現在実施している環境学習について

(1) 生ごみによる堆肥づくり・野菜作り

【野菜作りのスケジュール】

2月の土作りから7月の収穫までを1クールとして4クール（年数としては5年間）、市職員が小学校へ出向き環境学習を実施する。

【実績】

| 年 度 | 実 施 校 | |
|--------|--------------|-------------|
| 平成24年度 | 大藪小学校（4、5年生） | |
| 平成25年度 | 大藪小学校（4、5年生） | |
| 平成26年度 | 大藪小学校（4年生） | 弓削田小学校（3年生） |
| 平成27年度 | 大藪小学校（4年生） | 弓削田小学校（4年生） |
| 平成28年度 | 鎮西小学校（2年生） | 弓削田小学校（3年生） |
| 平成29年度 | 鎮西小学校（2年生） | 弓削田小学校（3年生） |
| 平成30年度 | 鎮西小学校（2年生） | 弓削田小学校（3年生） |

(2) 環境副読本の配付

市内小学校3・5年生を対象に環境に関する副読本を配布している。
副読本名「わたしたちのごみ」、「ごみべらし」

(3) ペットボトルキャップリサイクル

平成25年度より、一部小学校で実施。集めたキャップは、福智町にあるプラテクノマテリアルへ持ち込み、プリンターとしてリサイクルされている。

3. 今後の田川市での学習内容（案）の検討

(1) 生ごみによる堆肥づくり・野菜作りの方法を拡大する

現在行っている堆肥・野菜作りは学校に畑がある場合にしか環境学習が行えないマニュアルのみである。そこで今後は、畑の無い学校でも生ごみによる堆肥づくりが行えるよう、段ボールコンポストを利用した環境学習を行う。

(2) 環境副読本の配布時期等の見直し

毎年、副読本を配布しているが、学校が必要としている時期と配布時期にずれがあるため、学校の要望通り配付時期を変更する。また、副読本活用時の必要な支援を学校に対して行う。

(3) ペットボトルキャップリサイクル

本取り組みへの参加が一部の学校だったことに加え、参加校や回収量も年々減少していることから、改めて市内小中学校へキャップリサイクルの参加の呼びかけを行うとともに、回収量に応じて学校へ提供するサイクル品の見直しについても行う。

(4) ごみの分別に関する出前講座の実施

平成31年4月より、資源拠点回収が開始されることに伴い、子どもたちへごみの分別やりサイクルをより身近に感じてもらえるようごみの分別を中心とした出前講座を行う。そしてこの学習を、家族で話し合ってもらいごみに対する認識を各家庭で変えていき、ごみ排出量の減少を目指す。